

吉野町庁舎整備に伴う 拠点整備とグランドビジョンについて

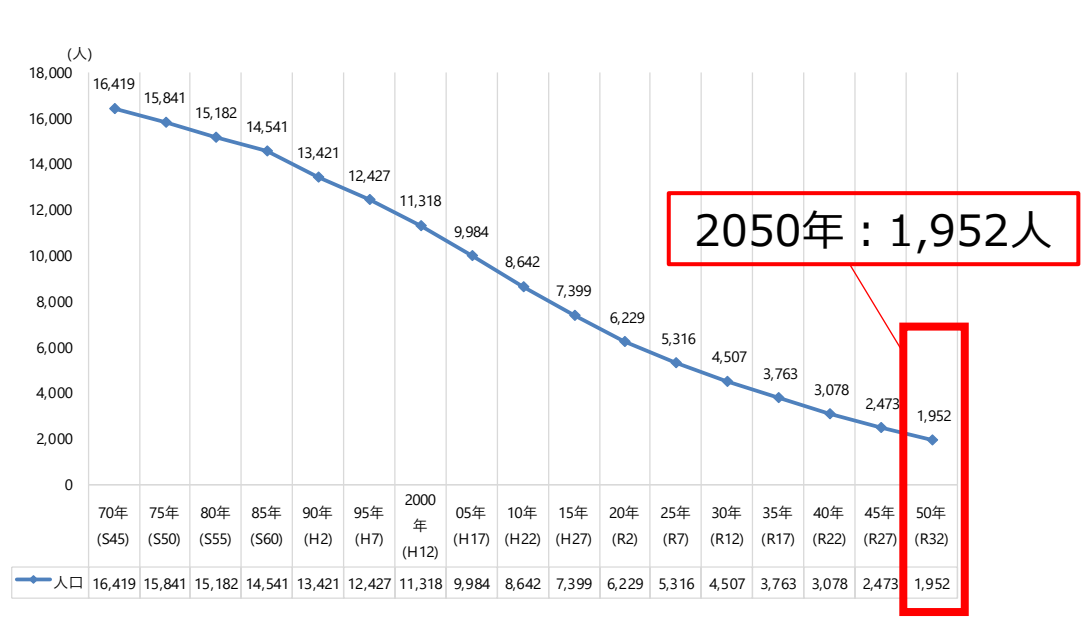
吉野町長 中井 章太

【目次】

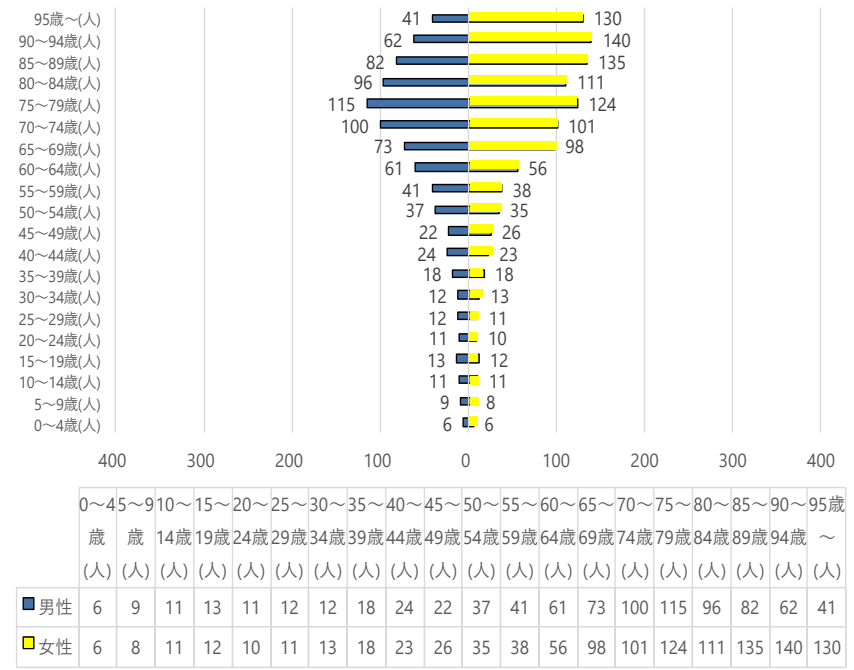
1. 課題について
2. 課題解決に向けて
3. グランドビジョンについて
4. その他

【課題①人口減少・高齢化の進展】

◆2020（令和2）年時点の人口推移と将来推計人口



◆2050（令和32）年本町人口ピラミッド（推計）



出典：1970～2020年：総務省「令和2年国勢調査」

2025～2050年：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

人口減少・少子高齢化に伴う持続可能な行政体制の構築

【課題②庁舎の老朽化】



吉野町役場本庁舎 昭和34年竣工（築65年経過）

- ・耐震工事 未実施
- ・庁舎の各所に、タイルやシートの剥離やひび割れ、亀裂等



災害時の業務継続、住民窓口の機能継続に支障が生じる可能性大

地震災害に非常に弱く、災害対策本部としての機能継続が難しい



**老朽化した現庁舎からの
脱却が急務**

【課題③激甚化・多発化する災害】



気候変動に伴う 災害の激甚化・頻発化

・1日の降水量が200ミリ以上の大雨を観測した日数（1901年以降）
最初の30年と直近の30年 **約1.7倍** 

・1時間降水量50ミリ以上の短時間強雨の発生頻度（1976年以降）
最初の10年と直近の10年 **約1.4倍** 

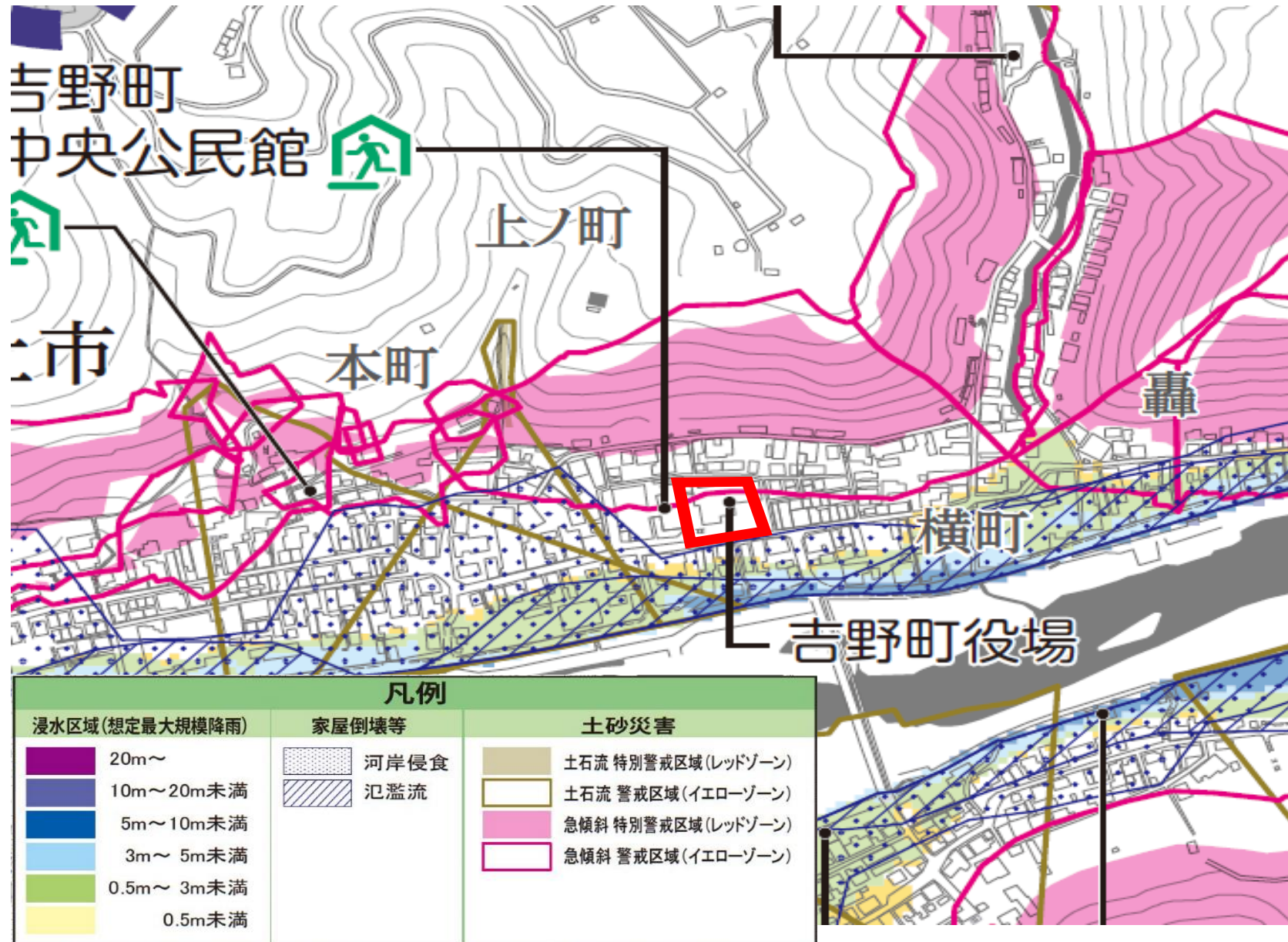


気象災害による人的・物的被害等のリスクの高まり



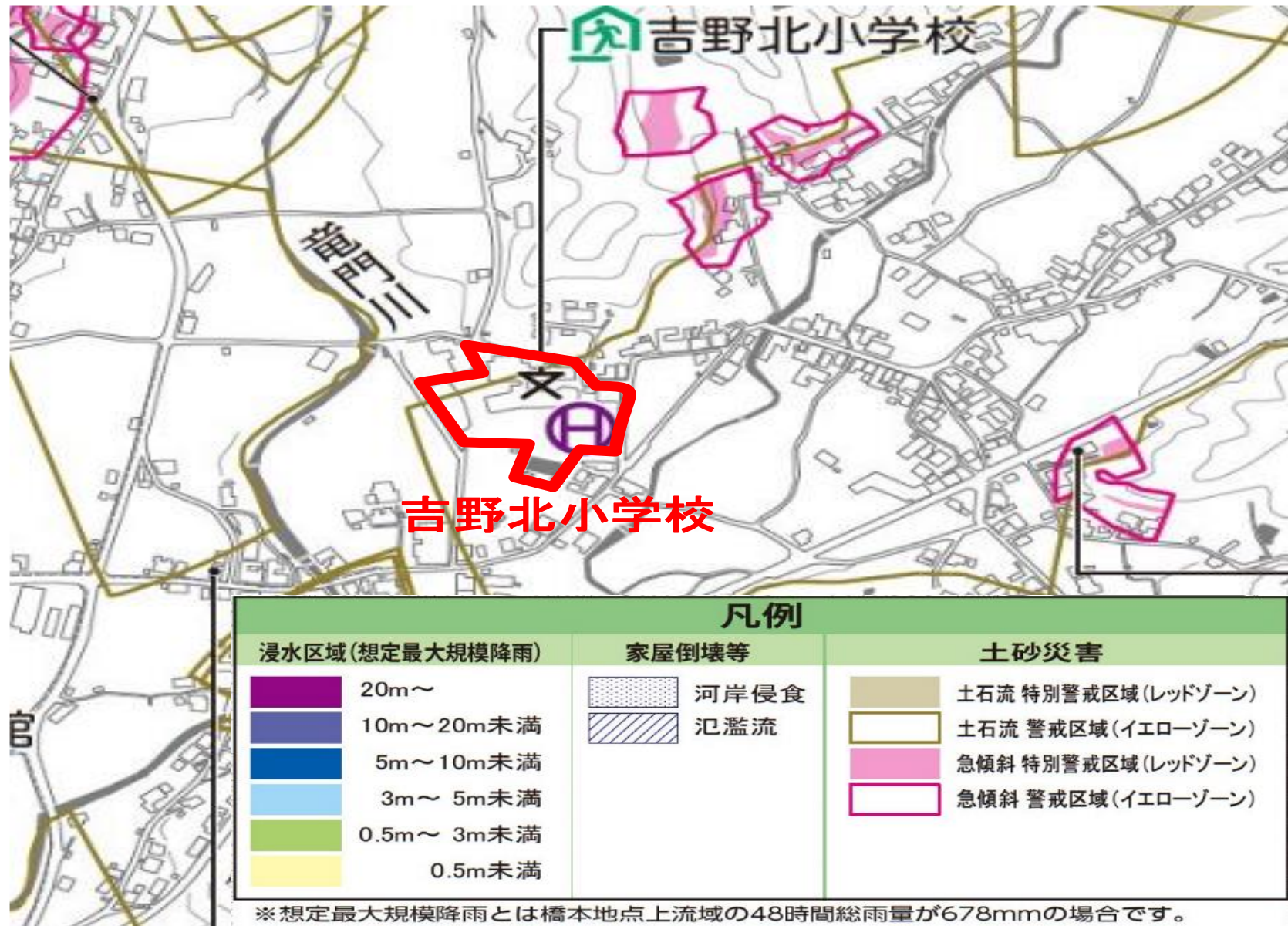
**安全性・防災力の
強化が必要**

吉野町役場周辺ハザードマップ



※想定最大規模降雨とは橋本地点上流域の48時間総雨量が678mmの場合です。

旧吉野北小学校周辺ハザードマップ



【課題解決に向けて】

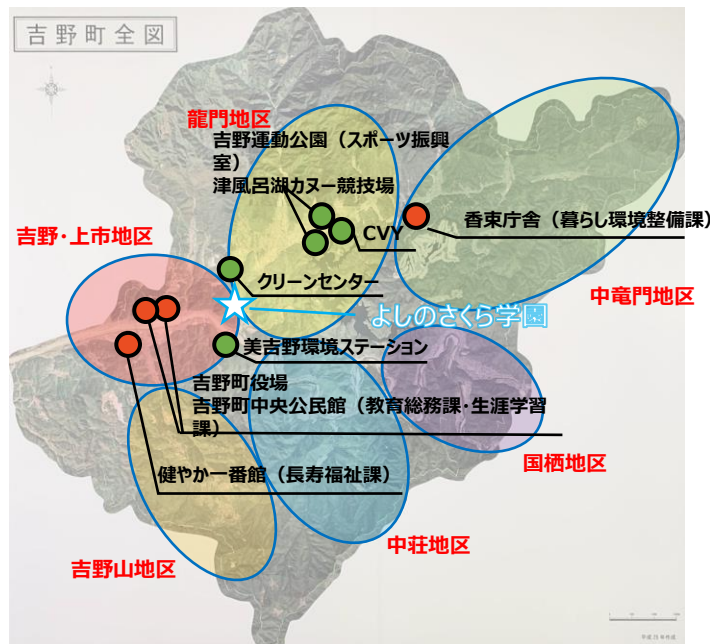
庁舎整備＝『まちづくり』

『町民の命を守り、人と経済を循環させる』

将来を見据えた庁舎・拠点の整備

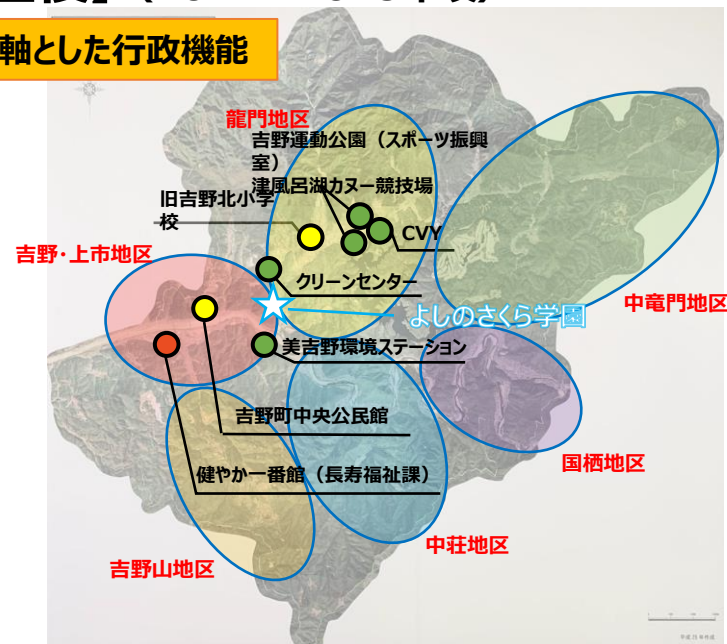
- ①激甚化する災害に備えた分散庁舎
→災害対応力の強化とレジリエンス(※)の確保
- ②従来の役場イメージの脱却（平時の行政サービスの変化）
→役場＝「建物」ではなく「機能」として定義
- ③まちの拠点と人の流れに則した庁舎
→利便性・アクセス・地域間連携
- ④分散している行政機能を段階的に縮小
→コスト削減と効率化

【現状】



【分散配置後】（2027～2028年頃）

※2大拠点を軸とした行政機能

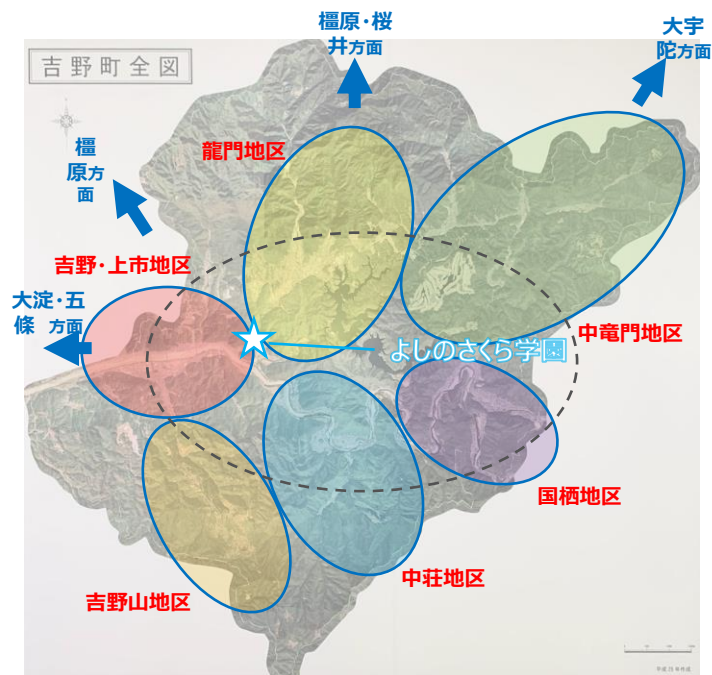


【将来】（2050年頃）

- ・デジタル技術を活用した行政サービス
- ・災害対応機能
- ・広域行政機能
- ・拠点形成によるまちづくり など



【新たな庁舎】
行政サービス機能の場所を
町民とともに見つけたす



- ◆小さな本庁（併設型）
- ◆行政サービス・生活拠点（コミュニティと交流）
- ◆職員がどこでも働ける職場環境

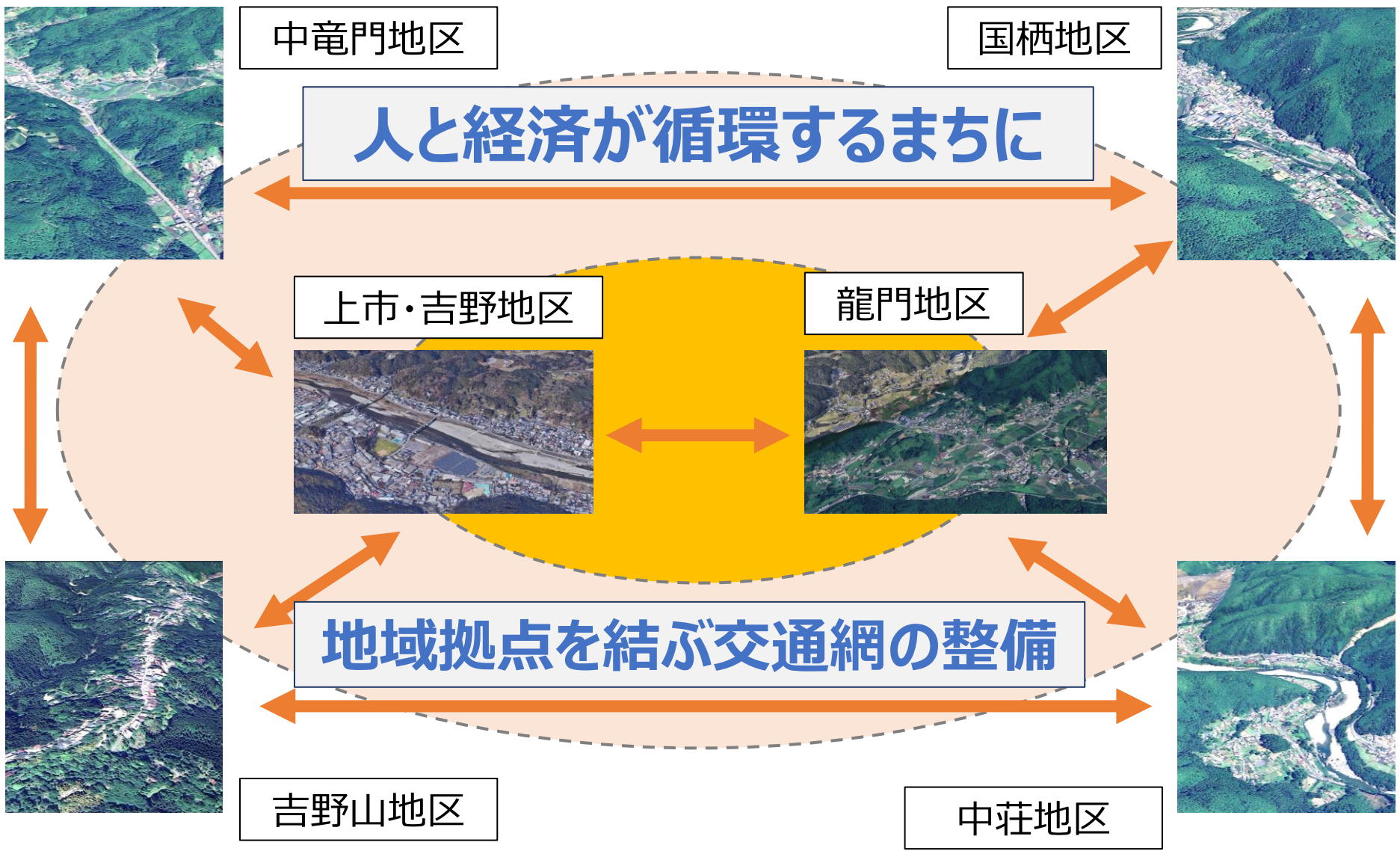
【課題解決に向けて】

持続可能なまちづくりへの第一歩

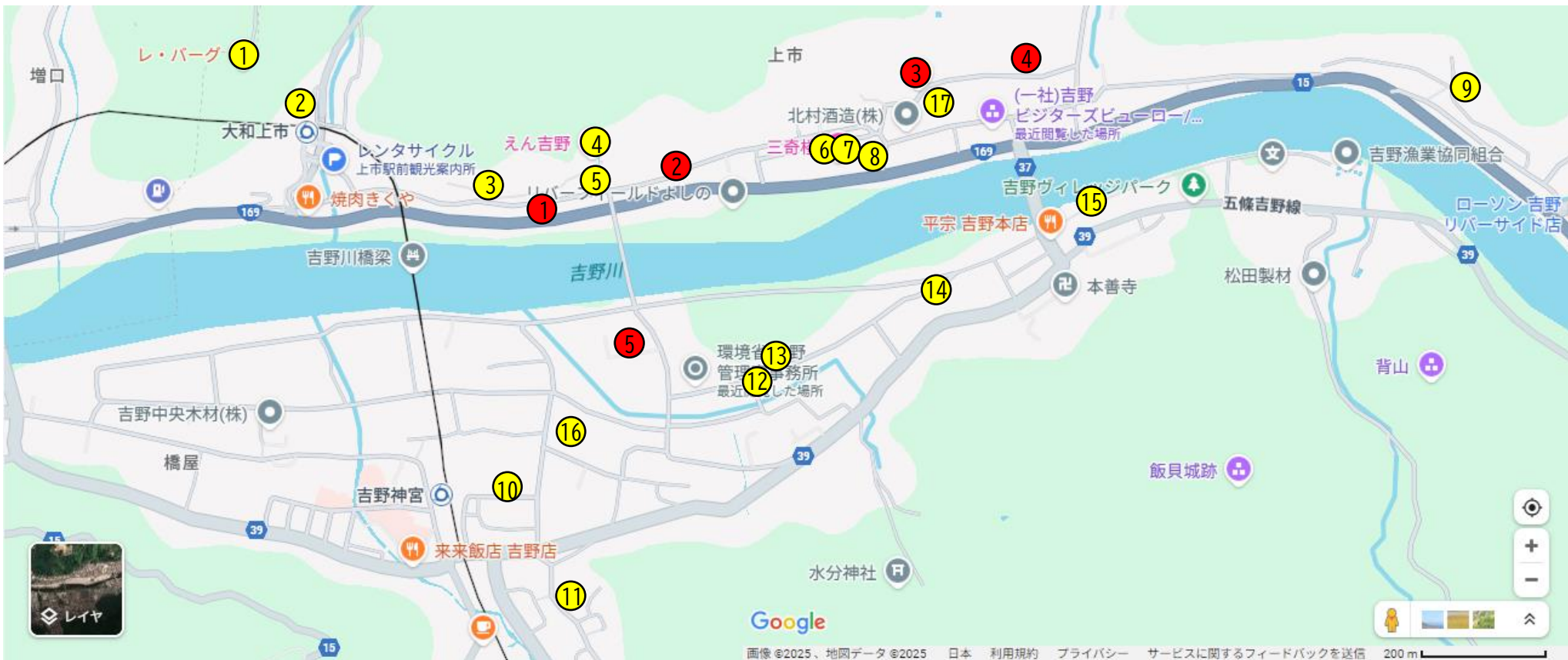
4本の柱を軸とした庁舎整備

- ①整備の迅速化
- ②災害対策拠点としての機能強化
- ③持続可能なまちづくりを目指した行政サービス維持向上
- ④将来を見据えた財政負担の軽減

【グランドビジョン】



【参考】 上市・吉野エリア 直近10年【H27（2015）～R7（2025）】の開業状況



宿泊
施設

1	宿坊 宝塔寺レ・バーク	H29	10	ランドブレイン社取得物件	
2	蓮 Ren	R7	11	時乃家	H30
3	シェアハウスおのさんち	R6	12	HEARTH_YOSHINO	R5
4	えん吉野	R4	13	鍼灸院 boschetto	R4
5	吉野長屋	R7	14	悠 吉野別邸	R7
6	ゲストハウス三奇楼	H27	15	吉野杉の家	H28
7	結ほんまち屋敷	R3	16	ゲストハウス	R7年度予定
8	呉福	R6	17	町営移住体験施設	R8年度予定
9	一棟貸し古民家宿「のび」	R7			

その他施設

1	洋菓子店	R7年度予定
2	YOSHINO GATE WAY	R4
3	カフェ COYA	R7
4	デザイン事務所	R7年度予定
5	奥村組(旧吉野小学校)	R9年予定

【参考】町の中心地を起点としたまちづくり(上市・吉野地区)

